夕刊
常磐新聞
九月十日
發行兼編輯印刷人　伊藤隆次
福島縣小名濱町古港一
發行所　常磐新聞社
日刊但日曜祭日翌日休刊
一部二錢　一ケ月三十錢
廣告料　一行五十錢

クスリ資生堂
小名浜町
電一四七

『袢』を拔いた五十嵐前場長
輝しき實業界へのスタートを切つて
明後十二日小名濱出發

一身上の都合で縣水産試驗場長の榮職を辭し、恩愛の叔父、大木盛三郎翁が經營になる、朝鮮釜山港の漁業の衝に當るべく出發準備中の處、事務引繼きも了し、中旬頃の豫定を早め愈々明後十二日泉發十一時の上列車にて出發と決定し途中生家靜岡に立寄り墓參を濟まし任地釜山にと輝しき實業界へのスタートを切る事になつた

日本水素購買部新設
精米、食糧品雜貨等
來る十五日華々しく開所

日本水素工業にては從業員の福利增進及び保健衛生の立前より購買部を新設する事になり、曩に胚芽米精米機を取付け一般從業員に配給して居つたが愈々來る十五日よりは購買部の開所を見る事になり、販賣品科目は精米を初めとし洋品雜貨文房具、食糧品（味噌、醬油、ビール、サイダー菓子類等に及び購買は各部傳票を發行して便益を圖つてゐる

縣銃後會長より見舞
小名濱三勇士に傳達

本縣銃後會長君島知事の名で名譽の戰傷を負ふた、小名濱出身勇士立花勇、小野一郎星野孝吉の三氏留守宅に見舞金として金壹封を傳達された

四人入亂れて
山神社で亂鬪

内郷村宮字金坂農關時夫（二四）と同村綴郵便局集配手戸田高一（二四）の二名は去る七日夜同村山神社で磐炭運搬夫鈴木太一（三三）同坑夫佐々木平三（二二）と喧嘩をやり太一に全治二週間、平三に一週間の暴行を加へ平署の取調べを受けた、鈴木が妹やす子（一五）を探しに來たところ前記の時夫高一がやす子と話をしてゐたことから爭ひとなつたもの

神谷駐在所
新築

神谷駐在所は去る八日の村會で工費千五百余圓野口米作氏の請負で來る二十日着することに決定した、來月中に竣工するが土盛工事は消防組の奉仕作業に

漂砂防除せずば
商港の機能に障害
小野町長等出縣陳情

小名濱町小野縣議、水野漁業組合長、野崎組合理事の三氏は八日出縣小名濱商港の漂砂防除の陳情をした、小名濱港は本縣唯一の重要商港であるばかりでなく本邦においても重要視される港であるが過般竣工した第一期修築工事の程度では眞に商港としての機能を發揮し得ず海が荒れる度毎に港内が砂を以て埋まり漂砂埋沒の程度甚大なるものがあつて船が接壁不可能の狀態となり市場前の岸壁に船着出來ないので港の前面に防砂堤を築きこの害を除くことが當面の重要問題であるわけだ

電話自動交換台据付
外部との通話は社宅でも
日本水素の整備振り

日本水素工業にては正門入口脇に自動的私設電話交換台を据付け社内及び外部との通話は各部社宅共に開通する事になり能率增進に一歩前進を實現する事になつた

戸毎に十頭！殖せ百萬!!!
郡農會で養兎報國に邁進

長期應戰下にあつて兎毛皮の需要は著しく增加してゐるが今年は梅雨期におけるゝ雨降つゞきで仔兎の育成が面白くなかつたのと最近肉類の高騰から屠殺適期前に賣却屠殺する傾向が多いので本郡農會では縣經濟部と協力家兎の增産奬勵と濫賣の防止につとめ「戸毎に十頭！殖せ百萬！」をスローガンとして養兎報國に邁進することになつた

因に郡下の養兎は大野、大浦、田人の各一千頭を筆頭に二萬五千内外である

小名濱魚市場
水、電兩裝置完成

小名濱魚市場附帶設備たる上下水道施設並に電灯裝置は豫てより工事中の處愈々完成し昨九日試運轉を行つた結果好成績であつた

日素俳句會

日本水素内俳句會第三回例會は明十一日晩事務所樓上に開催する

授與式

濱三郡苗代共進會の賞品賞狀授與式は來る二十日相馬郡農會で擧行

獻金

平市大町雜貨商深澤三郎さんは聖戰感憤、今春來好きな煙草をやめ五圓を恤兵費、五圓五十錢を軍事後援會に寄附し更に毛布一枚を獻納

夏井青年校行軍

夏井村青年學校生徒七十名は各自白米一升持參で十日大野玉山鑛泉迄行軍する

× × × × ×

天氣豫報

今晩　北の風曇り
明日　西の風曇り後晴れ

募集
一、仲仕數名
身体强健の人を求む
希望者至急來談されたし
江運送店
小名濱町電話一〇六番

各位
益々御清榮之段奉賀候　今般優良頰刺箱材料讓渡申可候間　希望者は當組合か小名濱町橋本拾貳番地大高箱店宛御申込被下度候
申込締切期日昭和十三年九月三十日
單價壹組ニ付貳拾五錢也
保証責任　小名濱海産卸物商業組合
電話七一番

印刷の御用命は！
常磐印刷所へ
電話（呼）一三九番

巷の聲

今次の防空演習と國民の自覺

明十二日より十六日迄擧行される防空訓練演習は時局下國民として單なる演習と觀過するには餘りに重大性に富み、尠くも假想ではなく實際を念として眞劍なる訓練を施す、國民全部の共同責任として心掛けなければならない、戰爭の相手國支那の現狀はどうであろうか、我荒鷲の向ふ處殆ど蹂躙に任せ實務は愚か、逃場所を求める爲めに何れも大混亂に陷入つてゐる事は一般周知の事實である我帝國は敗戰の文字の必要はないが無軌道的な空襲は何時何處に起らぬとも限らない、殊に長期戰下に置かれる國民としては非常時に備へる爲めの防空訓練は一般の常識として知悉し盡す事は共同の責務でなければならぬ今次の訓練演習は實際に即した五日間と云ふ期間もあり、その間各自の職務、職業に親しみながら一糸亂れぬ防空智識の涵養こそ防空訓練演習の全精神であろう

頭なしの水產試驗場

去る三十一日に前五十嵐場長の依願免官の發令あつて既に十日、それでも後任場長の決定も見なければ場長事務代理の命も見ない、一体どうした事か、これでは頭なしで手足のみだが縣水產課長は健在なりやと言ひたくなる、最も順位よりすれば菊地製造主任が期せずして場長代行は執り行ふであろうが命令が出ないのだから仕事が、仕惜であらろ水產試驗場は單なる研究所でなく縣下漁業家、製造家の實賢的指導者であつて、場長の人を得るとは本縣業界に至大の影響ある爲め、漁業家、製造家方面は成行を注視してゐる

撞球臺讓度
一、賣値壹百五十圓
一、賃貸月七圓
何れ共御希望者は至急御申越され度
常磐新聞社
電（呼）一三九

健全第一主義
企業への出發
郡山無盡へ御加入下さい
郡山無盡小名濱出張所

產科
婦人科
專門
小名濱町登記所先
森口醫院
（入院手術室完備）
電話二〇一番

浪曲大家合同出陣
末廣　友若　コロンビヤ專屬
東家　樂燕　浪曲界ノ元締
東家　三樂　テイチク專屬
出演者多數に付御早く御出で下さい
愈々今晩限り
磐城座

皆樣おなじみの
御料理
御仕出し
喜樂
中島電話四十七番

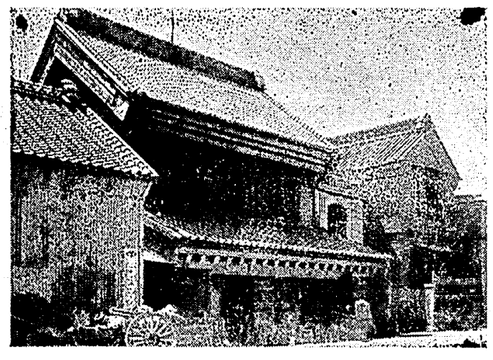
齒科一般
佐々木齒科醫院
日本齒科醫學士
佐々木三郎
泉村小學校前　電話一番

日の出上醬油
養老味噌　釀造元
綠屋商店
電話二十九番
千代田生命保險相互會社
富國徵兵保險相互會社
昭和火災保險株式會社
代理店

契約者本位
一家の延長として
湯本無盡へ
御加入を御すすめする

曳前の御知らせ
漁船家屋其他動產の移動
土木建築請
鐵道船舶仲仕負
一般
小名濱町榮町（ちく港地內）
北村芳藏
（御希望の方は一應御相談下さい）

▼調味料として最も經濟的で滋養と美味に富み便利なる削節を御用命願ひ上げます
削魚節
製造元
卸小業
馬上與八商店
小名濱小學校前

開業御披露
江戸ッ子
おでん
もつ燒
一平
小名濱。紅椿前

銅鐵金物一切
磐城セメント特約代理店
三井生命保險平代理店
日立式モートル
福島縣下特約店
電機部
專用電話六三一番
振替口座一〇九五六番
釜屋商店
平市五丁目　電話九番　九九番